

秋の収穫までのお楽しみ

保育所と津地自治会がサツマイモ植え交流



秋の収穫が楽しみだね

6月6日、津地市内の畑でひのっこ保育所と津地自治会とのサツマイモの苗植え交流会が行われました。毎年恒例となっている交流会は、今年で10年目を迎えました。小雨交じりのあいにくの天気でしたが、保育所から年長児10人が参加。用意されたサツマイモの苗約300本を津地自治会の皆さんと一緒に植えていきました。子どもたちは、手が泥だらけになりました。子どもたちは、秋には、芋掘りが行われる予定で、子どもたちも津地自治会の皆さんもその日が待ち遠しいようでした。

口いっぱいに広がる甘い香り

久住でサクランボ狩り



親子でサクランボ狩りに夢中

6月12日、久住にあるサクランボ園で、子育て支援室おひさまひろばの親子とボランティアの皆さんが招待され、サクランボ狩りが開かれました。佐藤錦や紅桜といった、6種類のサクランボが植えられた園内では、赤やピンクに色づいた大きなサクランボが実り、参加者を迎えていました。同園を管理する稲田組の稲田耕社長は「今年は例年に比べると、多くは実っていませんが、甘さは十分です。ゆっくり楽しんでください」とあいさつ。この日は、雨が降る中でのサクランボ狩りとなりましたが、参加した親子らは「あまーい、おいしいね」と、口いっぱいに広がる甘い香りに笑顔を見せながら、味わっていました。

動物や有害鳥獣について正しく知る

黒坂小学校で鳥獣被害対策講義

動物に対する興味を持ち、有害鳥獣の識別ができるようになってもらおうと、6月17日、黒坂小学校で、鳥獣被害対策講義が行われました。

当日は、4月に開所した日野郡鳥獣被害対策協議会から実施隊の隊員3名が講師として招かれ、黒坂小学校の全校生徒38名に分かりやすく説明していきました。

講義は、子どもたちが理解しやすく、少しでも興味を持つて



この動物分かるかな？



実施隊員の説明に興味津々

もらおうと、動物などの写真を使ったクイズ形式にして行われました。子どもたちはグループに分かれ、写真で親子のペアを作ったり、アライグマやアナグマ、ハクビシンといった、似ている動物の見分け方について教わったりしていました。

子どもたちは、写真を使った講義や実施隊員の説明に熱心に耳を傾けながら、動物や有害鳥獣について学び、興味を持った様子でした。



自転車世界一人旅、熱き思い

日野国際交流協会20周年記念講演

日野国際交流協会（小谷博徳会長）が設立20周年を迎えるのを記念して、6月15日、町山村開発センターで、自転車による世界一周一人旅をした「自転車野郎アキラ」こと、加藤彰さん（米子市）を招き、「自転車地球を走る・熱く生きる」と題し、記念講演を行いました。

講演では、約10年間にわたり、「風子」と名付けた相棒の自転車での一人旅の中で見た光景や各国での出会いなどを、写真や映像で振り返っていきました。

旅の中でのエピソードとして、強盗に出会ったこと、思いがけない濁流にのまれたことといった大変だった



熱く語る加藤さん

たことから、地球の裏側で奇跡の出会いがあったこと、そして、粗末な小屋に住む老人が見ず知らずの自分を招き入れ、一杯のチャイを飲ませてくれたといった心あたたまる話を紹介しました。

次に行きたいところは「やっぱりアフリカ」と加藤さん。「今の日本人が忘れていようような多くの感動に出会いたい。地球は広い」。講演会を通し、加藤さんの熱い思いを参加者全員が受け止めていました。



貴重な体験を聞こうと多くの人が来場

悠久の時を感じ、後世に残す

都合山たたら保存活動



学生ボランティアも枯れ枝などの除去に力を発揮

かつて、たたら製鉄で名をはせた近藤家が操業していた「都合山たたら」から鉄を運んだたたら街道を整備し保存する活動が、6月22日行われました。当日は、地元の住民や学生ボランティアなど多くの人が参加しました。参加者らは、都合山たたら側と街道側の二手に分かれ、道の草刈りや枯れ枝、倒木の除去などを行いました。参加者らは、草刈りなどに汗を流しながら、かつて栄えた都合山たたら跡やたたら街道に悠久の時を感じ、こうした遺産を後世に残していこうと改めて感じている様子でした。

和気あいあいと交流

金持自治会でウォーキング

6月1日、金持自治会住民が参加し、町道宝仏山線朝刈をウォーキングしました。

これは、毎年金持自治会の代満交流会として運動会を実施していたものを今年ウォーキングに変更して行われたものです。

当日は、晴天で絶好のウォーキング日和のもと、30名が参加し、和気あいあいと約10kmを往復しました。ウォーキング後は、各自で料理を持ち寄り、懇親会を開き親睦を深めました。



自然を楽しみながら歩きました